

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 令和3年度 事後評価対象課題一覧

① 感染症サーベイランス、病原体データベース、感染拡大防止策等の総合的な対策に資する研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
H31	R3	川口 寧	東京大学	教授	抗ウイルス戦略の新しい標的同一に資する ウイルスタンパク質コード遺伝子の新規解読法の開発
H31	R3	黒田 誠	国立感染症研究所	センター長	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究
H31	R3	齊藤 慎二	国立感染症研究所	主任研究官	インフルエンザウイルスの抗HAステム抗体に対する逃避機構の解明およびその逃避変異体の利用
H31	R3	古瀬 祐気	長崎大学	客員研究員	RSウイルス感染症の重症化に係る疫学的実体・ウイルス学的機序の解明
H31	R3	松岡 雅雄	熊本大学	教授	ウイルス・宿主ゲノム情報に基づいたHTLV-1関連疾患発症予測法の開発と臨床情報統合データベースの整備・活用

② ワクチンの実用化及び予防接種の評価に資する研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
H31	R3	石井 孝司	国立感染症研究所	部長	種々の感染症に対するワクチンの品質管理法の開発、改良に関する研究
H31	R3	木所 稔	国立感染症研究所	主任研究官	長期的、短期的なアプローチによる安全で有効な新規ムンプスワクチンの開発研究
H31	R3	菅 秀	国立病院機構三重病院	副院長	ワクチンの実地使用下における基礎的・臨床的研究及びワクチンの評価・開発に資する研究
H31	R3	長谷川 秀樹	国立感染症研究所	センター長	経鼻インフルエンザワクチン導入を見据えた基盤技術の開発
H31	R3	松本 光司	昭和大学	教授	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究
H31	R3	MOI MENG LING	東京大学	教授	中和抗体レバトア解析を用いたデングウイルス感染防御のメカニズム解明とワクチン開発に向けた応用に関する研究開発

③ 新興・再興感染症の検査・診断体制の確保に資する研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
H31	R3	有田 峰太郎	国立感染症研究所	主任研究官	疑似ウイルスを用いた抗ポリオウイルス中和抗体の測定法の開発
H31	R3	慶長 直人	結核予防会結核研究所	副所長	結核の発病予測向上と治療期間短縮を目指した生物学的要因の探索
H31	R3	河野 茂	長崎大学	学長	薬剤耐性真菌対策を含めた侵襲性真菌症の革新的検査と治療法に関する研究開発
H31	R3	鈴木 忠樹	国立感染症研究所	部長	病理学的アプローチによる先天性感染症・原因不明感染症診断法の開発
H31	R3	久枝 一	国立感染症研究所	部長	寄生虫による中枢神経病態の解明と診断・治療への応用

H31	R3	丸山 治彦	宮崎大学	教授	わが国における熱帯病・寄生虫症の最適な診断治療予防体制の構築
H31	R3	村松 正道	国立感染症研究所	部長	効率の良い培養細胞系・動物系が確立されていないウイルスの感染評価系の開発と診断・治療・予防法の基盤開発
H31	R3	森 嘉生	国立感染症研究所	室長	麻疹・風疹排除のためのサーベイランス強化に関する研究
H31	R3	森川 茂	岡山理科大学	教授	動物由来感染症の制御に資する検査・診断・予防法に関する研究

④感染症に対する診断薬、治療薬の実用化に関する研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
H31	R3	阿戸 学	国立感染症研究所	部長	抗毒素製剤の高品質化、及び抗毒素製剤を用いた治療体制に資する研究
H31	R3	大西 真	国立感染症研究所	副所長	梅毒の迅速診断法に資する研究開発
H31	R3	西條 政幸	国立感染症研究所	部長	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の対策に資する開発研究
H31	R3	清水 博之	国立感染症研究所	室長	新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究
H31	R3	下島 昌幸	国立感染症研究所	室長	一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究推進
H31	R3	鈴木 仁人	国立感染症研究所	主任研究官	抗生物質の再評価と既承認薬の再配置による新規抗菌薬の創製
H31	R3	田村 敏生	国立感染症研究所	室長	潜在性結核感染者及び発症高リスク者の検出技術、プライム組換えBCG と追加免疫法、及び多剤耐性結核の治療薬の開発による総合的な結核対策の構築
H31	R3	中原 知美	国立がん研究センター	研究員	超多重ガイドRNA/Cas9 nickase搭載一体型アデノウイルスベクターを用いたパピローマウイルス感染病変のゲノム編集治療法の開発
H31	R3	村田 武士	千葉大学	教授	多剤耐性腸球菌に存在するV-ATPaseを分子標的とした新規抗菌薬の開発

⑤新興・再興感染症に対する国際ネットワーク構築に資する研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
H31	R3	中島 典子	国立感染症研究所	室長	新型インフルエンザ等重症呼吸器感染症の臨床・病理学的解析に基づく診断・治療に係る国際連携研究